

# 令和7年度 入札・契約、総合評価の実施方針(案) 〔工事〕

令和6年度実施状況(参考データ)

令和7年3月11日



国土交通省 関東地方整備局

# 目次

1. 令和6年度の入札・契約の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2. 令和6年度の総合評価落札方式の実施状況・・・・・・・・・・・・ 7

# 1. ①入札・契約方式の実施状況

(R6. 12月末現在)

- 令和6年度は、約82%の工事を一般競争で実施。
- 不調・不落が見込まれる案件において施工体制の確保を図るために公募型指名競争入札方式、フレームワークモデル工事を活用しているため、指名競争は約14%となっている。

(契約金額: 百万円)

	R 3			R 4			R 5			R 6 (R6. 12月末時点)		
	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額
一般競争	876	68.3%	300,527	779	74.7%	303,714	718	76.3%	231,108	495	81.7%	133,107
指名競争	336	26.2%	51,151	217	20.8%	32,728	161	17.1%	22,767	88	14.5%	11,615
随意契約	71	5.5%	16,073	47	4.5%	16,188	62	6.6%	94,096	23	3.8%	2,639
合計	1,283	100%	367,751	1,043	100%	352,629	941	100%	347,971	606	100%	147,361

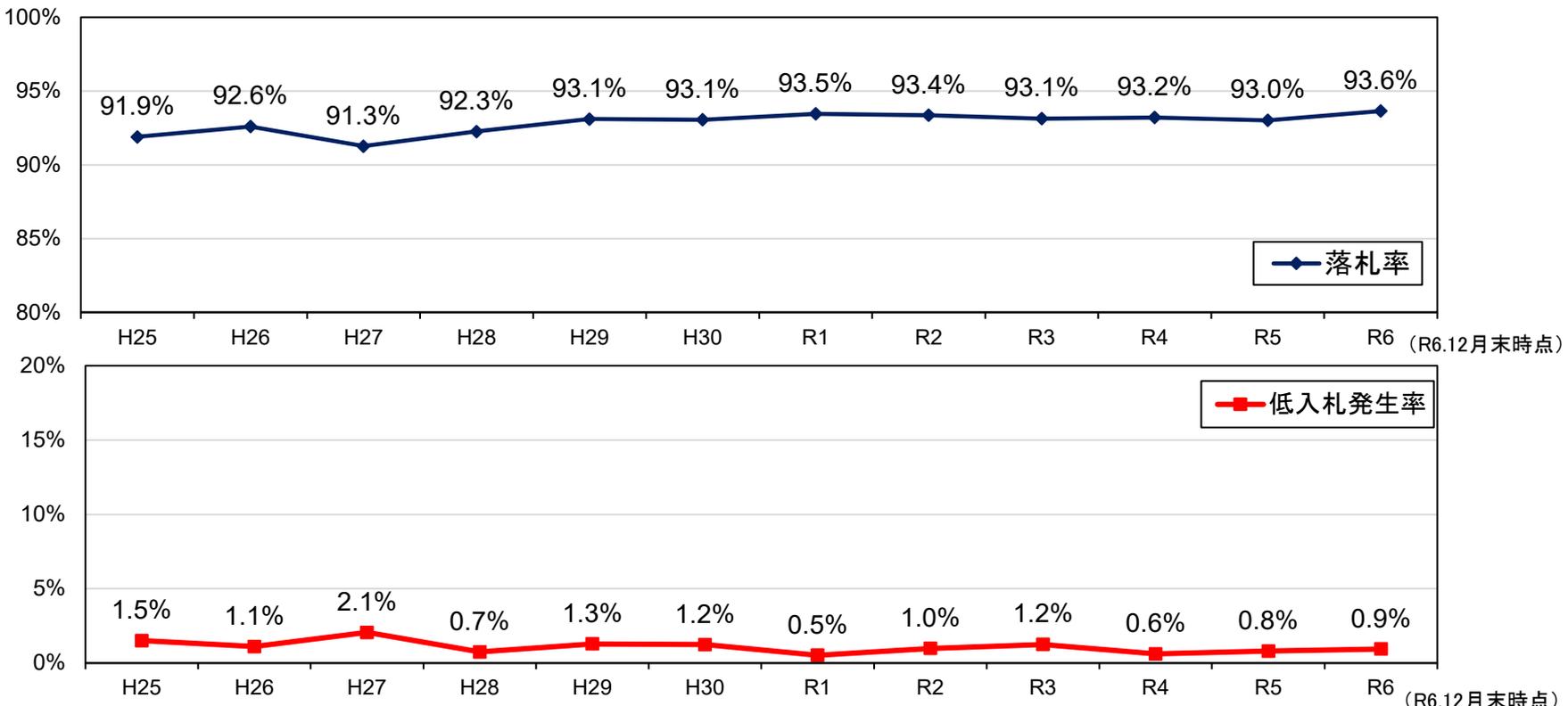
※250万円未満の工事を除く

※指名競争は、災害復旧工事、公募型指名競争入札及びフレームワークモデル工事にのみ適用。  
上表のうち、災害復旧工事への適用はR2年度に15件あり、R3年度以降は適用していない。

※随意契約には、特命随契のほか、不調随契を含む。

# 1. ②落札率・低入札発生状況

○落札率は、近年90%台で推移しており、令和6年度は**93.6%**。  
 ○低入札発生率は、近年1.0%程度で推移しており、令和6年度は**0.9%**。



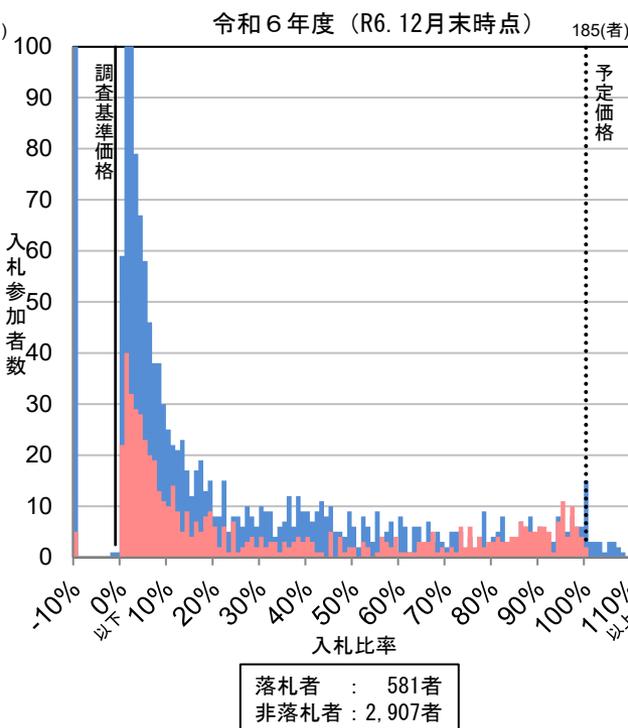
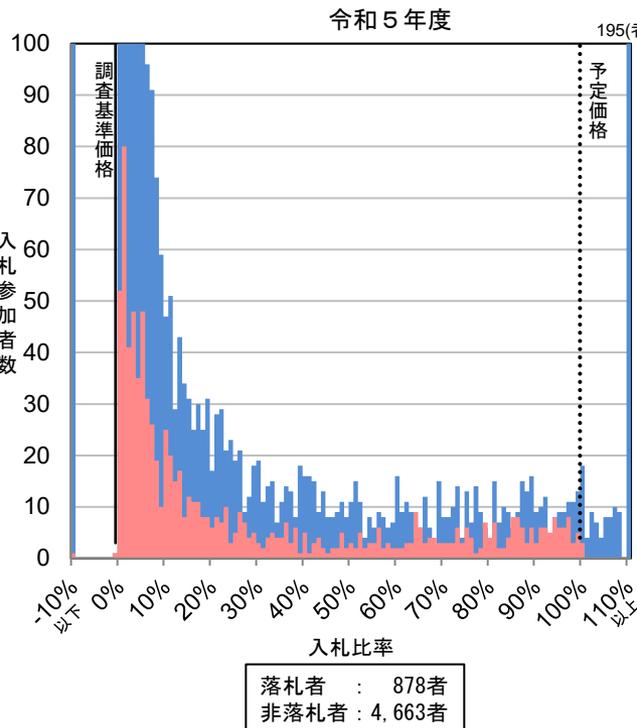
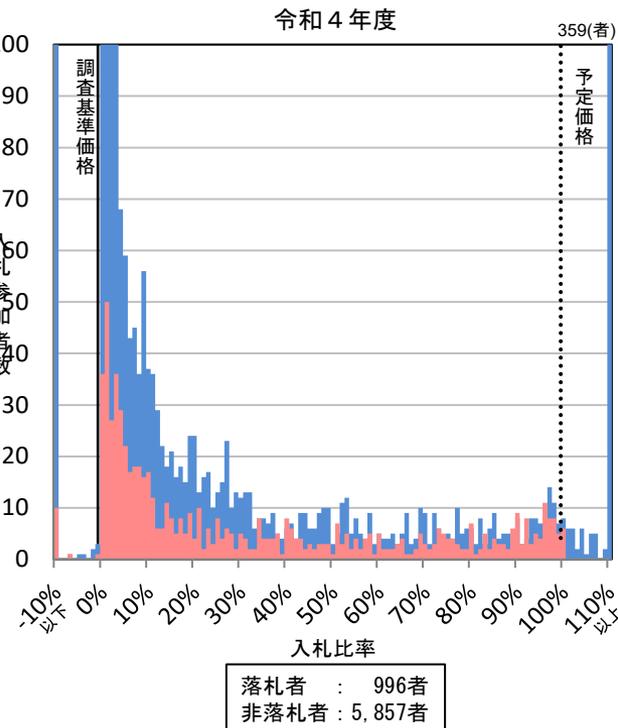
参考：調査基準価格の算定方法見直し

	H25	→	H28	→	H29	→	R1	→	R4
①直接工事費	95%	→	95%	→	97%	→	97%	→	97%
②共通仮設費	90%	→	90%	→	90%	→	90%	→	90%
③現場管理費	80%	→	90%	→	90%	→	90%	→	90%
④一般管理費	55%	→	55%	→	55%	→	55%	→	68%
【範囲】	7.0/10~9.0/10					→	7.5/10~9.2/10		

※一般競争、指名競争を対象。随意契約を除く  
 ※250万円未満の工事を除く

# 1. ③入札比率の分布

○ 入札比率の分布は、調査基準価格付近に集中する傾向は変わらない。



### 【入札比率の算出方法】

$$\text{入札比率} = \frac{\text{入札額} - \text{調査基準価格}}{\text{予定価格} - \text{調査基準価格}}$$

### 【凡例】

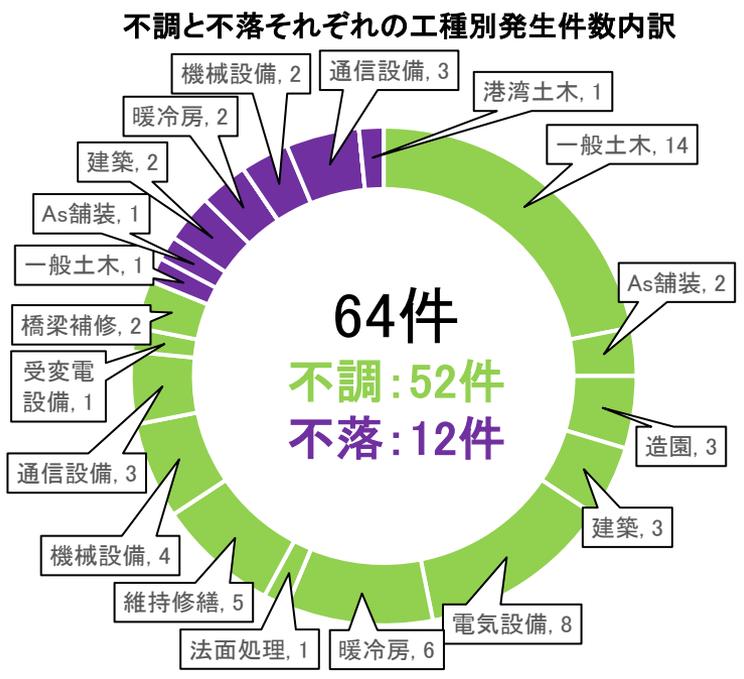
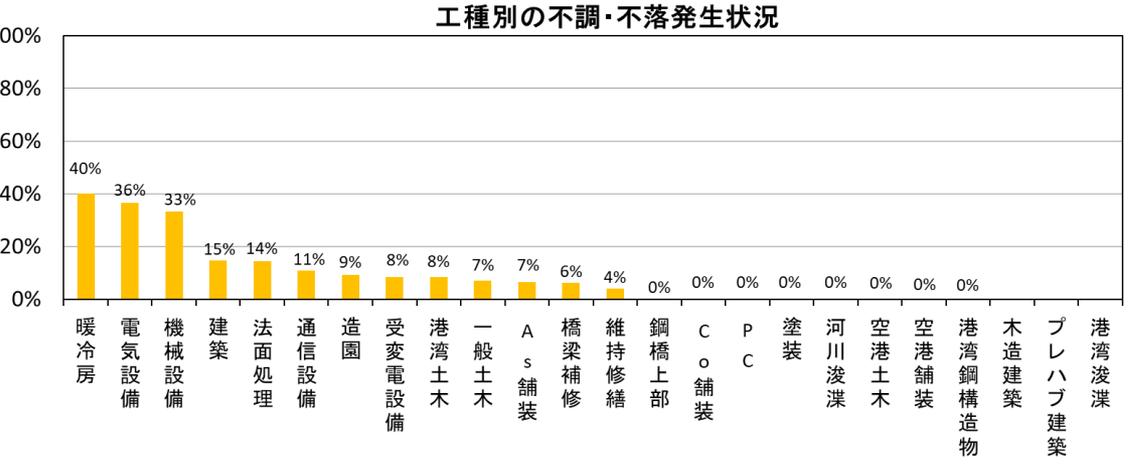
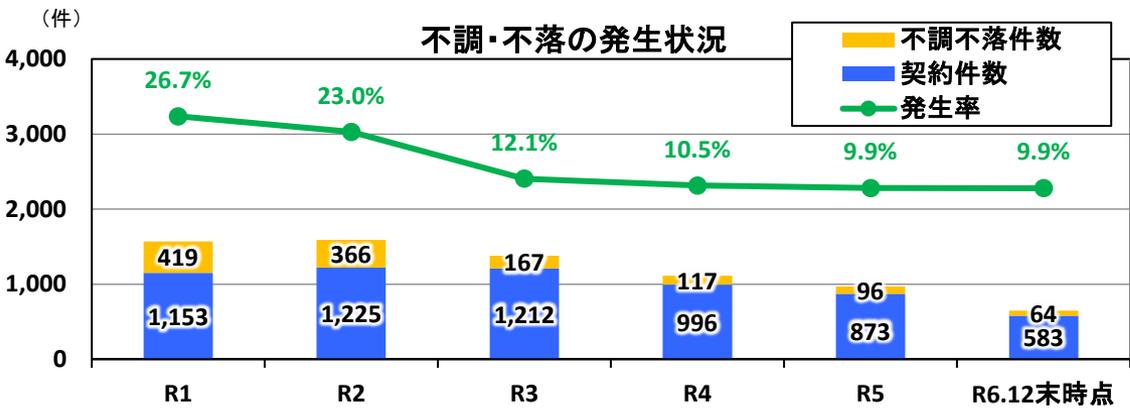
- 落札者
- 非落札者
- ..... 予定価格
- 調査基準価格

※一般競争、指名競争を対象  
※250万円未満の工事を除く  
※随意契約を除く

# 1. ④不調・不落発生状況

(R6. 12月末現在)

○令和6年度の不調・不落発生率は9.9%。令和元年度、2年度から改善し、近年は横ばいの傾向。  
 ○工種別では、設備関連(暖冷房、電気設備、機械設備)で高い傾向にあり、今後も継続して対策を進めていくことが必要。



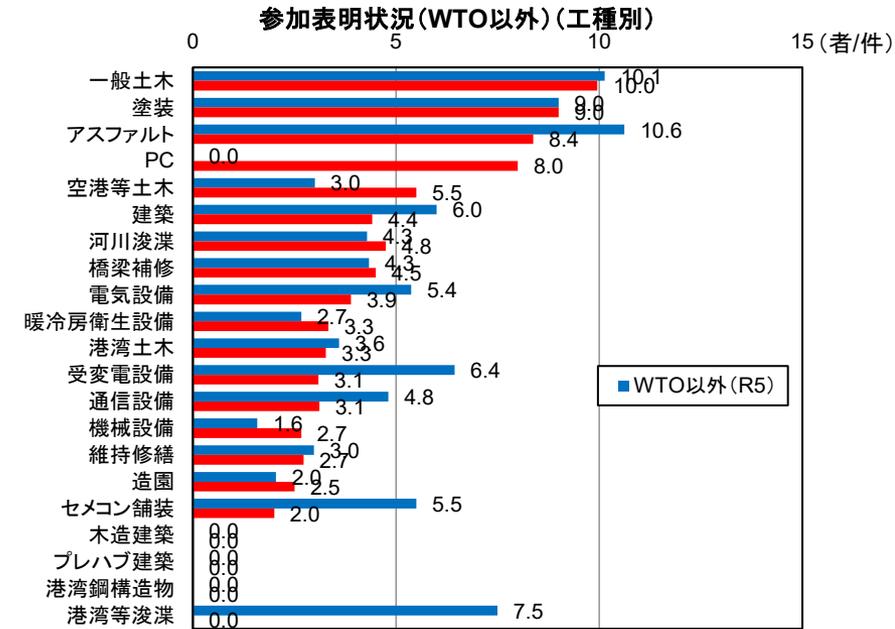
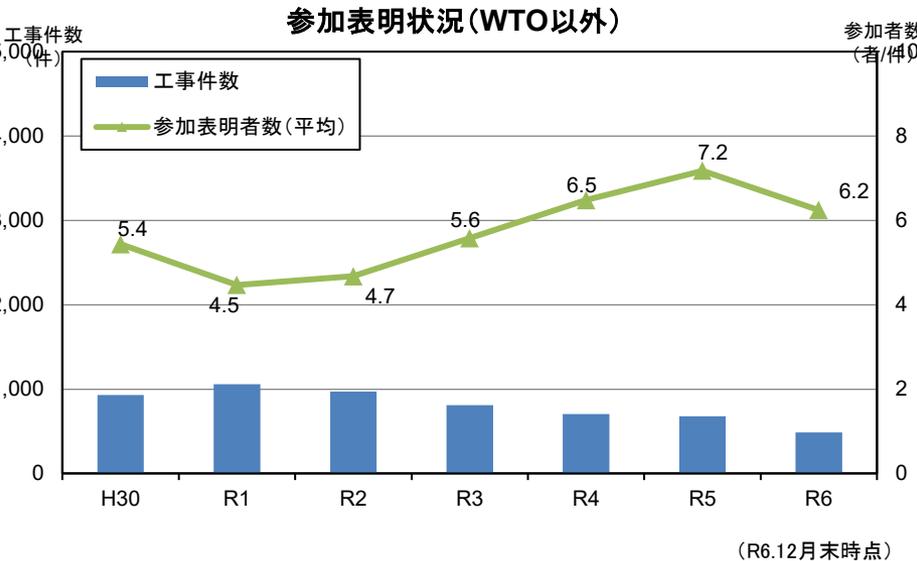
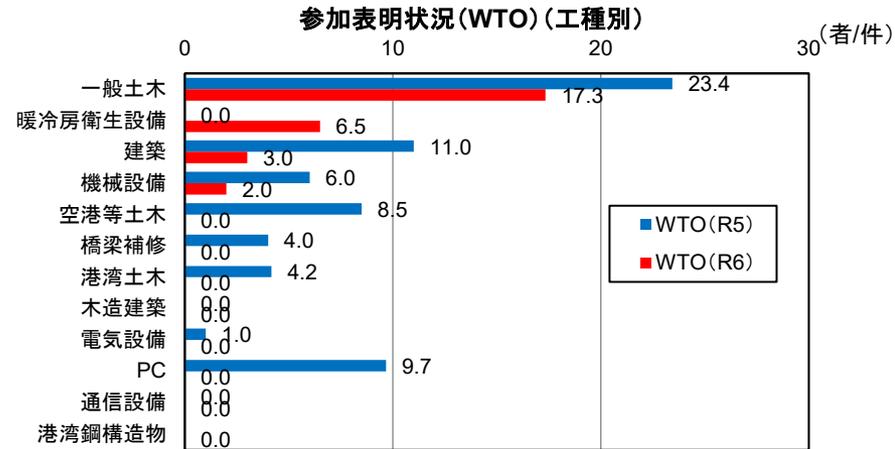
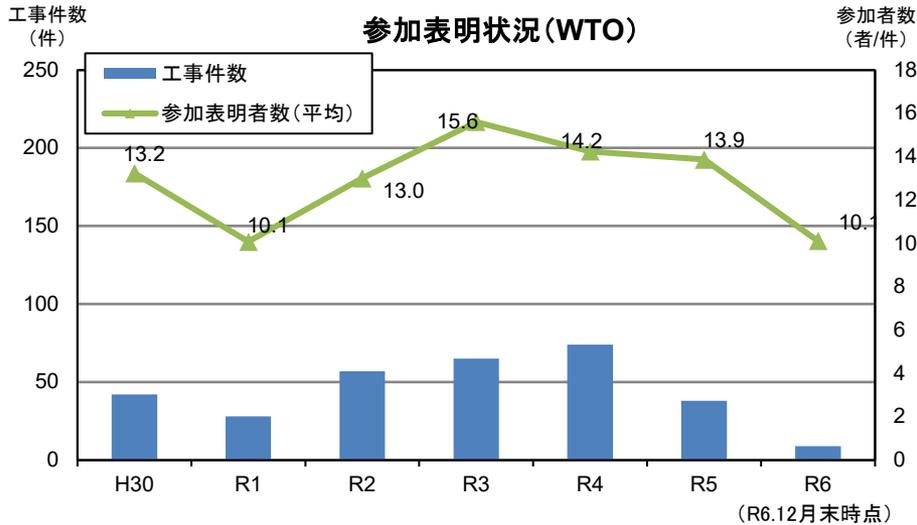
※一般競争、指名競争を対象。随意契約を除く  
 ※250万円未満の工事を除く

	暖冷房	電気設備	機械設備	建築	法面処理	通信設備	造園	受変電設備	港湾土木	一般土木	As舗装	橋梁補修	維持修繕	鋼橋上部	Co舗装	PC	塗装	河川浚渫	空港土木	空港舗装	港湾鋼構造物	木造建築	プレハブ建築	港湾浚渫
発注件数	20	22	18	34	7	56	33	12	12	214	46	32	122	2	1	3	3	4	4	1	1	0	0	0
不調不落件数	8	8	6	5	1	6	3	1	1	15	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

# 1. ⑤参加表明者の状況

(R6. 12月末現在)

○令和6年度契約工事の平均参加表明者は、WTO対象工事で10.1者、WTO対象工事以外で6.2者であり、競争性が確保されている。



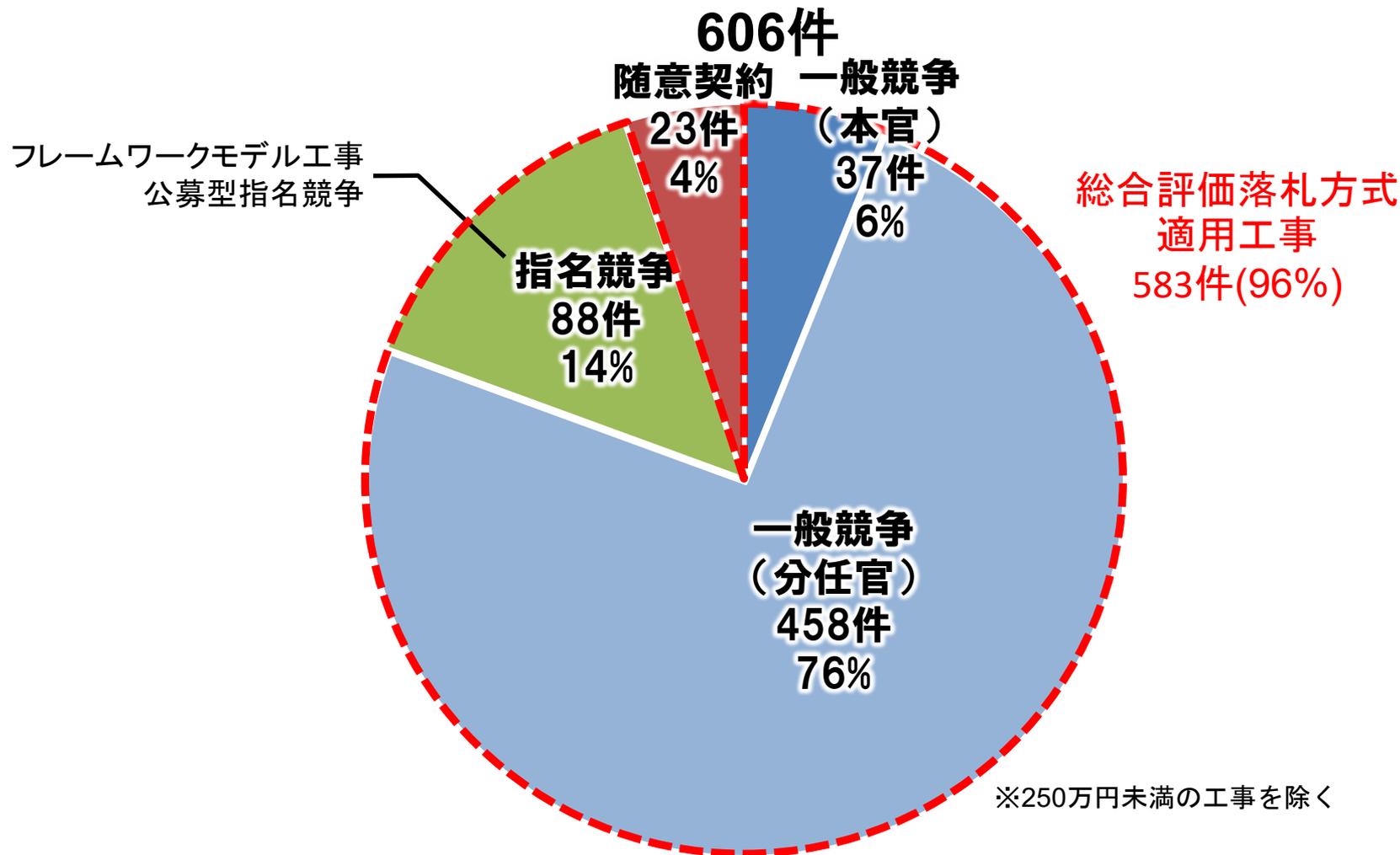
※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く

(R6.12月末時点)

②総合評価落札方式の実施状況

○令和6年度の全契約工事のうち、随意契約を除く全ての工事で総合評価落札方式を適用。

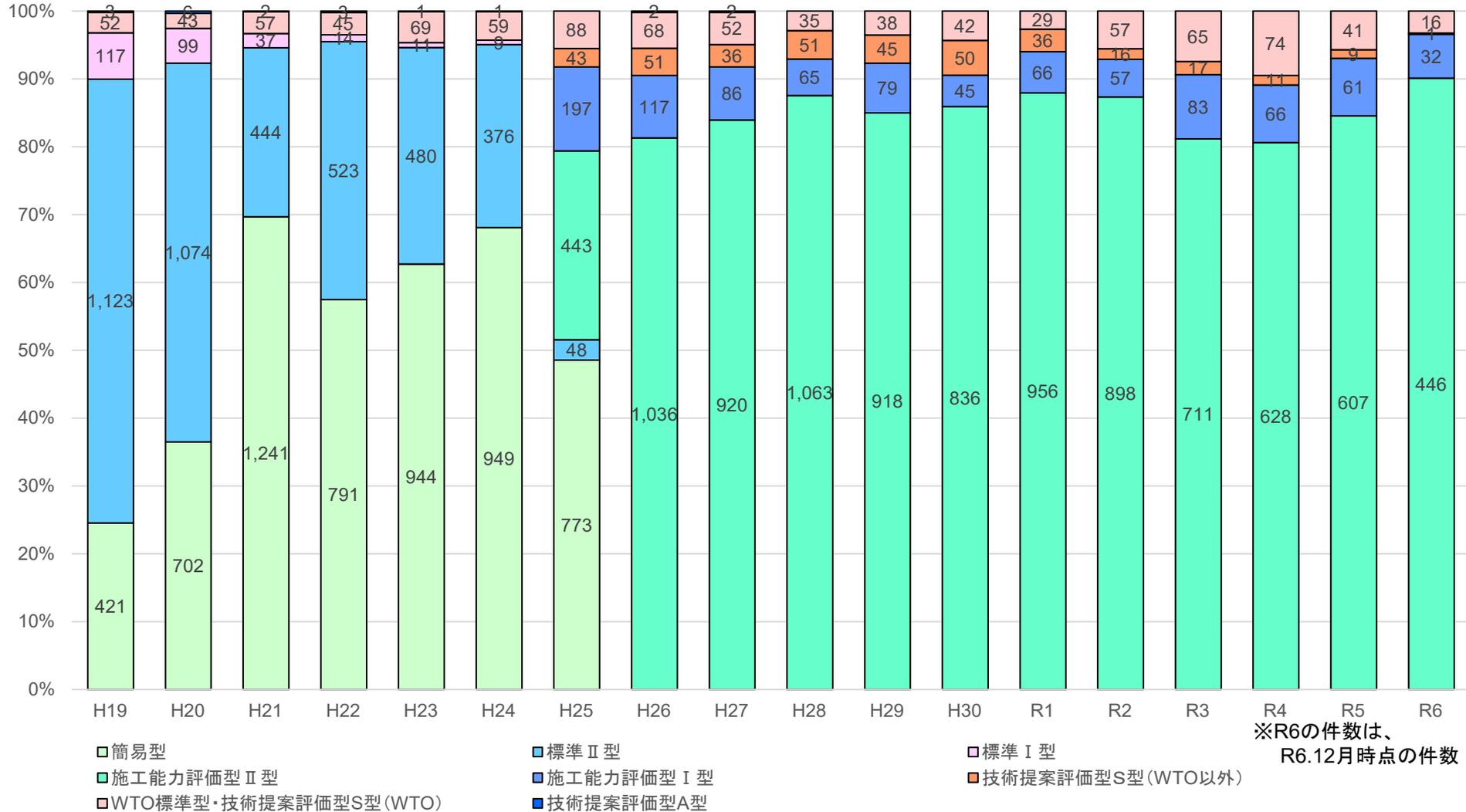
令和6年度工事契約件数(R6.12月末時点)



## 2. ②総合評価落札方式の実施状況

(R6. 12月末現在)

- 施工能力評価型が約97%、技術提案評価型を約3%の割合で実施。
- 施工能力評価型Ⅱ型が全体の約90%を占めている。



※一般競争を対象

※250万円未満の工事を除く

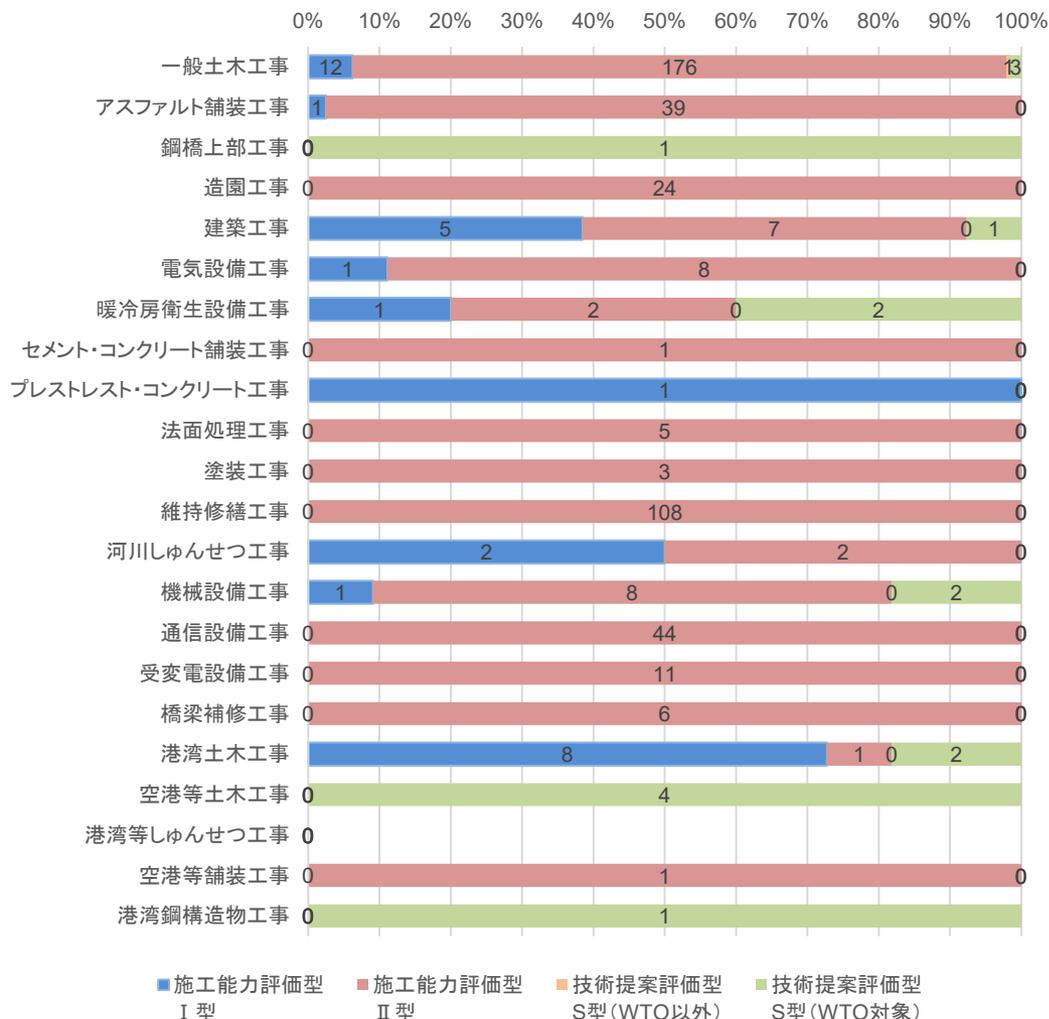
## 2. ③総合評価落札方式の実施状況

(R6. 12月末現在)

○施工能力評価型が約97%、技術提案評価型を約3%の割合で実施。

○施工能力評価型Ⅱ型が全体の約90%を占めている。

(R6.12月末時点)



工事種別	施工能力評価型Ⅰ型	施工能力評価型Ⅱ型	技術提案評価型S型(WTO以外)	技術提案評価型S型(WTO対象)	合計
一般土木工事	12	176	1	3	192件
アスファルト舗装工事	1	39			40件
鋼橋上部工事				1	1件
造園工事		24			24件
建築工事	5	7		1	13件
電気設備工事	1	8			9件
暖冷房衛生設備工事	1	2		2	5件
セメント・コンクリート舗装工事		1			1件
プレストレスト・コンクリート工事	1				1件
法面処理工事		5			5件
塗装工事		3			3件
維持修繕工事		108			108件
河川しゅんせつ工事	2	2			4件
機械設備工事	1	8		2	11件
通信設備工事		44			44件
受変電設備工事		11			11件
橋梁補修工事		6			6件
港湾土木工事	8	1		2	11件
空港等土木工事				4	4件
港湾等しゅんせつ工事					
空港等舗装工事		1			1件
港湾鋼構造物工事				1	1件
合計(件数)	32	446	1	16	495件
割合	6.5%	90.1%	0.2%	3.2%	100%
	96.6%		3.4%		

※一般競争を対象

※250万円未満の工事を除く

## 2. ④落札者の状況(最低価格者以外が落札した割合)

(R6. 12月末現在)

○全発注件数のうち約30%を最低価格者以外が落札。

→令和5年度と比較しやや減少。

○技術提案評価型S型WTO対象以外は約100%、WTO対象は約50%を最低価格者以外が落札。

### 最低価格者以外の落札状況

	R4年度			R5年度			R6年度 (R6年12月末時点)		
	発注件数	最低価格者 以外の落札	左記の割合	発注件数	最低価格者 以外の落札	左記の割合	発注件数	最低価格者 以外の落札	左記の割合
施工能力評価Ⅱ型	628件	232件	36.9%	607件	248件	40.9%	446件	135件	30.3%
施工能力評価Ⅰ型	66件	28件	42.4%	61件	26件	42.6%	32件	12件	37.5%
技術提案評価S型 (WTO以外)	11件	5件	45.5%	9件	3件	33.3%	1件	1件	100.0%
技術提案評価型S型 (WTO対象)	74件	50件	67.6%	41件	26件	63.4%	16件	8件	50.0%
技術提案評価型A型	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	779件	315件	40.4%	718件	303件	42.2%	495件	156件	31.5%

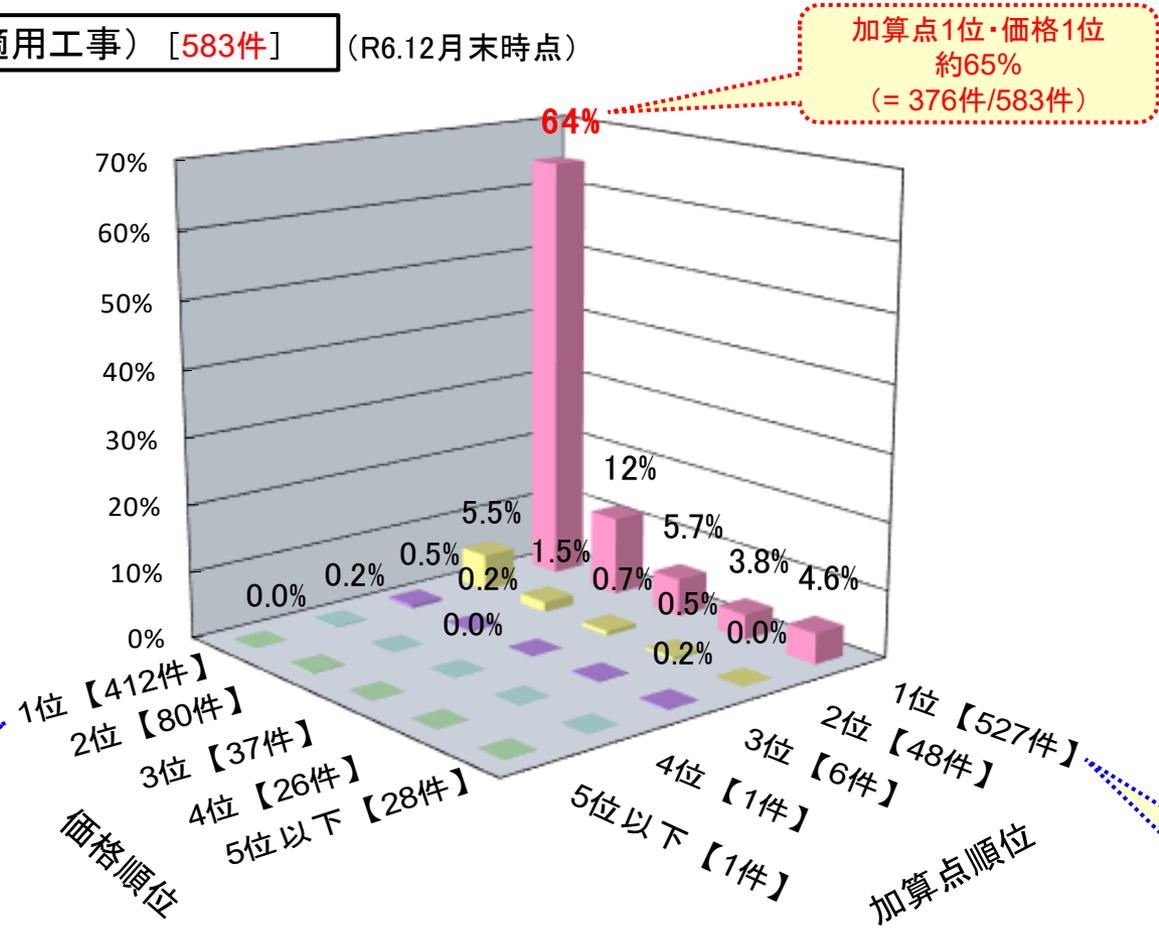
※最低価格者以外の落札:落札者のうち、  
最低価格でなくても落札できた工事  
※一般競争を対象  
※250万円未満の工事を除く

## 2. ⑤落札者の状況(加算点・価格順位からみた落札者の状況)

- 加算点順位1位かつ価格順位1位の者による落札が全体の約65% (583件中376件)。
- 加算点1位の企業が落札者となる割合(約90%、527件)は、価格順位が1位の企業が落札者となる割合(約71%、412件)を上回っている。

【R6年度】(総合評価適用工事) [583件] (R6.12月末時点)

平均入札参加者数: 3.2者



価格順位1位  
約71%  
(= 412件/583件)

加算点1位  
約90%  
(= 527件/583件)

※ 一般競争および指名競争(総合評価落札方式適用工事)を対象  
 ※ 250万円未満の工事を除く  
 ※ 加算点と価格順位の比較のため 予定価超過は含んでいない

## 2. ⑥落札者の状況(加算点・価格順位からみた落札者の状況)

(R6. 12月末現在)

【R6年度】(施工能力評価型) [565件] (R6.12月末時点)

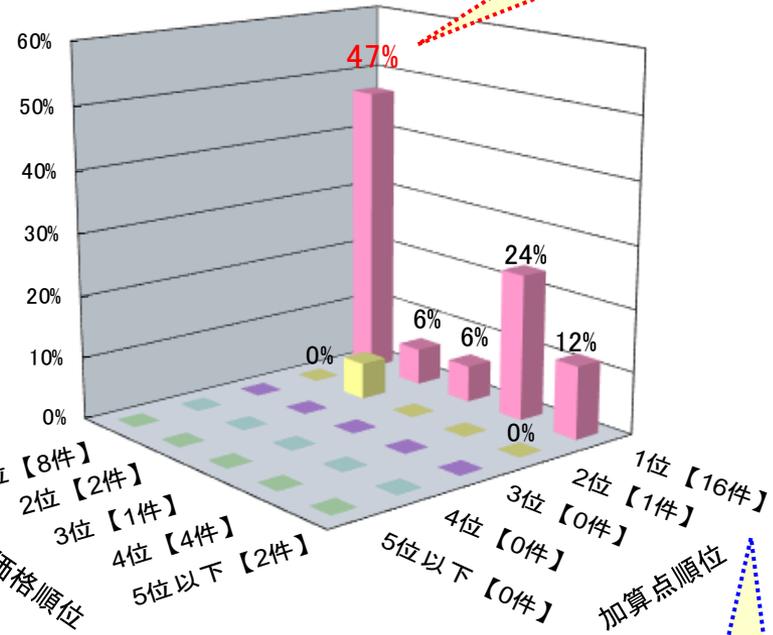
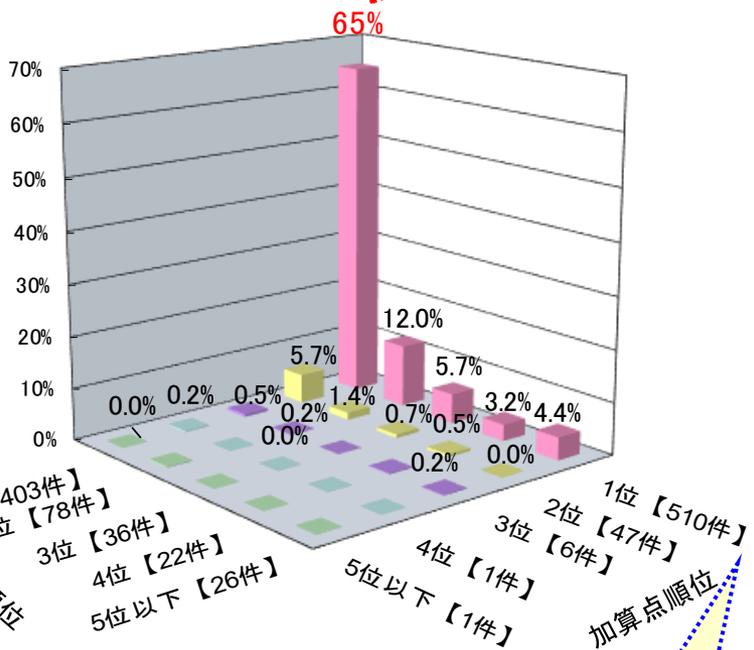
【R6年度】(技術提案評価型) [17件] (R6.12月末時点)

平均入札参加者数: 3.3者

加算点1位・価格1位  
約65%  
(= 367件/565件)

平均入札参加者数: 3.9者

加算点1位・価格1位  
約47%  
(= 8件/17件)



価格順位1位  
約71%  
(= 403件/ 565件)

加算点1位  
約90%  
(= 510件/565件)

価格順位1位  
約47%  
(= 8件/17件)

加算点1位  
約94%  
(= 16件/17件)

※ 一般競争および指名競争(総合評価落札方式適用工事)を対象  
 ※ 250万円未満の工事を除く  
 ※ 加算点と価格順位の比較のため 予定価超過は含んでいない

## 2. ⑦競争参加者の加点状況の分析

(R6. 12月末現在)

### 【施工能力評価型(標準タイプ) 一般土木工事】

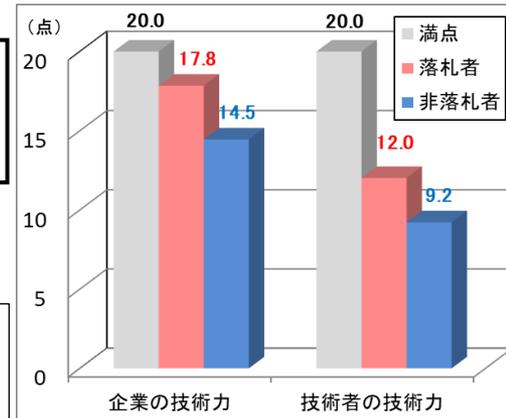
落札者(77者)と非落札者(515者)の違い

○企業の技術力では、「同種工事の施工実績」「工事成績」「表彰」により差が顕著。

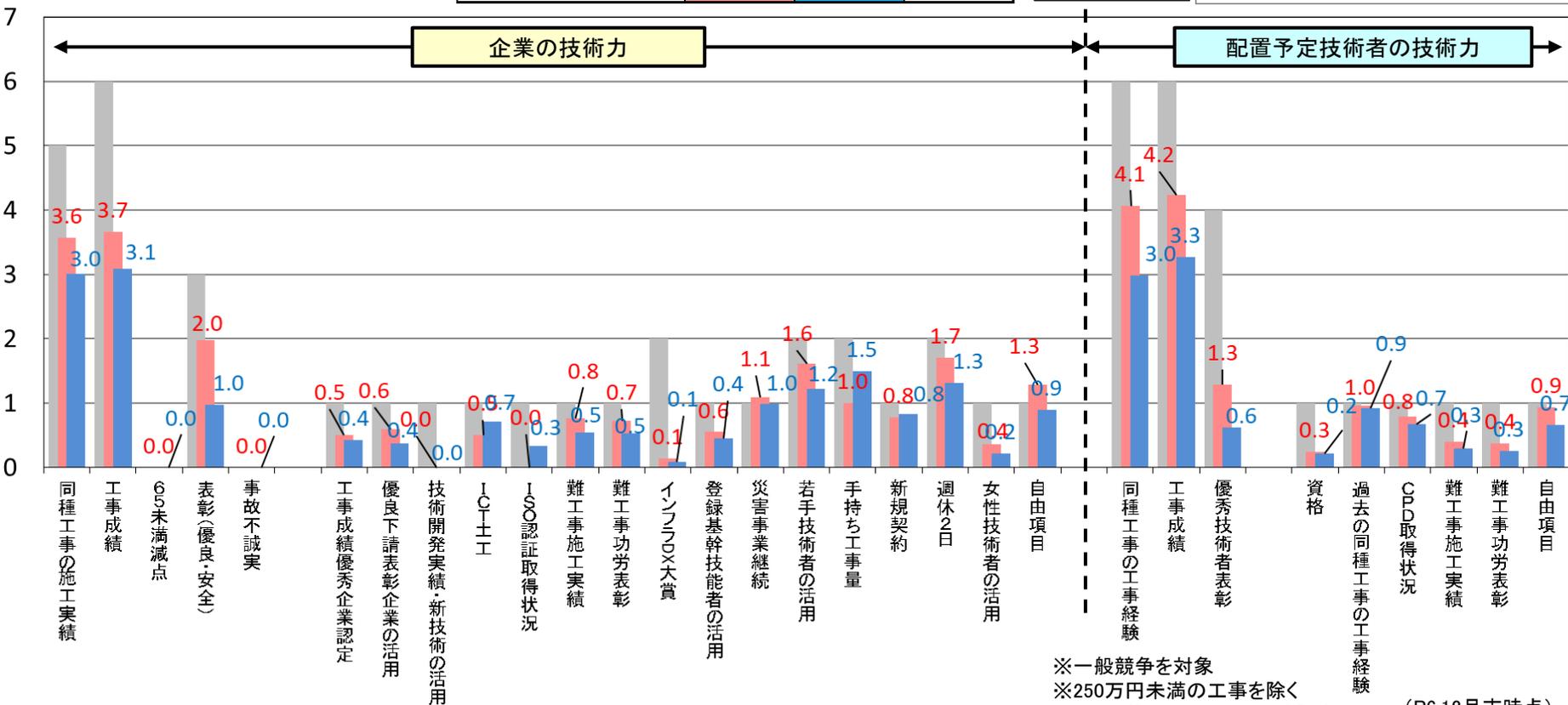
○配置予定技術者の技術力では、「同種工事の工事経験」「工事成績」により差が顕著。

	落札者	非落札者	点差
合計	29.5	23.7	5.8
企業の技術力	17.8	14.5	3.4
技術者の技術力	12.0	9.2	2.8

■満点  
■落札者  
■非落札者



(点)



※一般競争を対象  
※250万円未満の工事を除く  
※1者応札の工事(1工事)を除く

(R6.12月末時点)

## 2. ⑧競争参加者の加点状況の分析

(R6. 12月末現在)

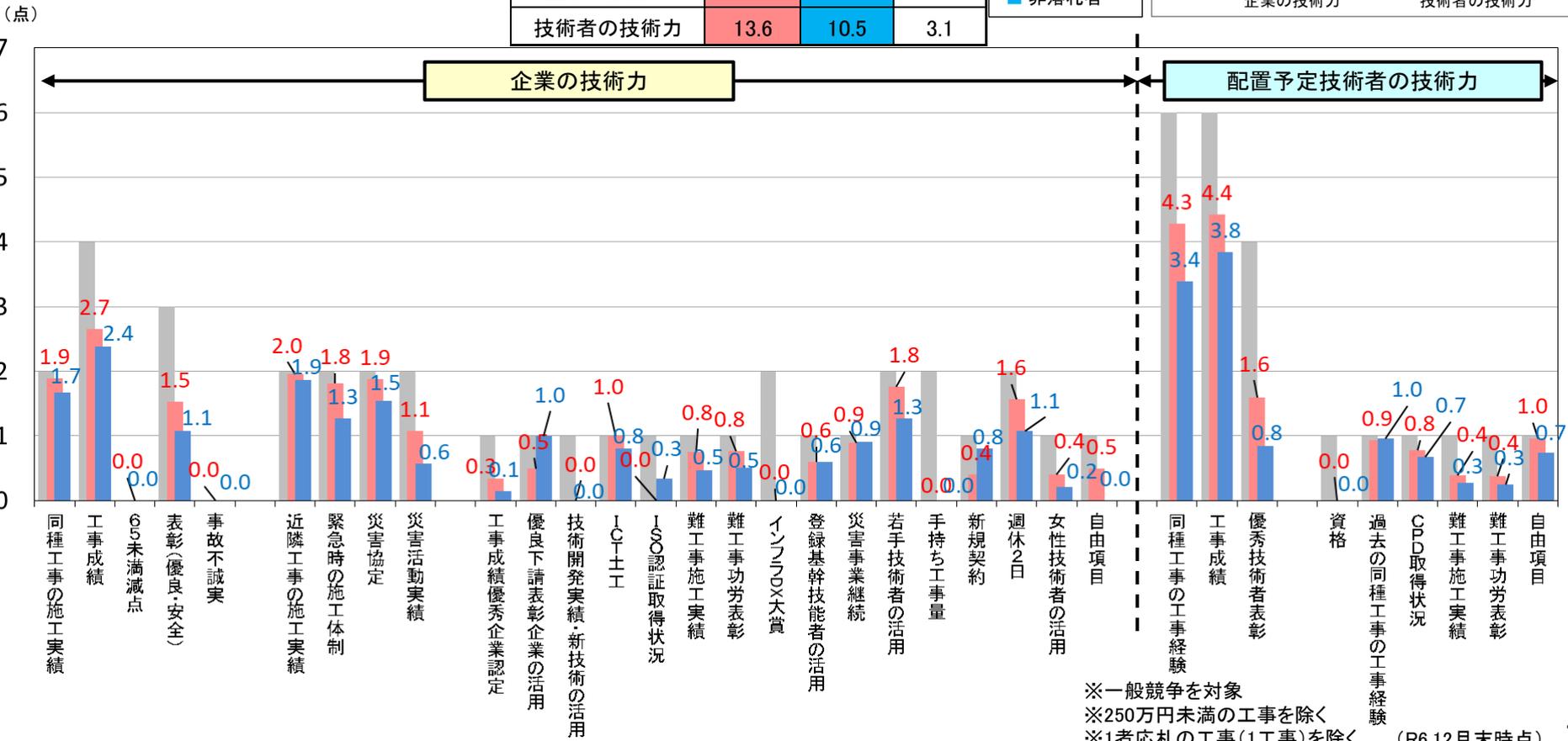
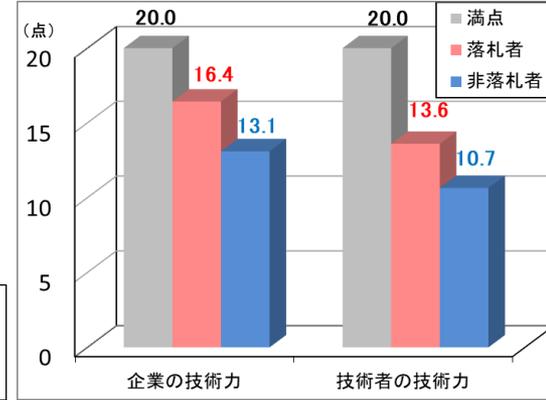
### 【施工能力評価型(地域密着工事型) 一般土木工事】

落札者(58者)と非落札者(334者)の違い

- 企業の技術力は、「緊急時の施工体制」や「災害活動実績」により差が顕著。
- 配置予定技術者の技術力では、「同種工事の工事経験」、「工事成績」、「優秀技術者表彰」により差が顕著。

	落札者	非落札者	点差
合計	30.1	23.6	6.5
企業の技術力	16.4	13.1	3.3
技術者の技術力	13.6	10.5	3.1

■満点  
■落札者  
■非落札者



※一般競争を対象  
※250万円未満の工事を除く  
※1者応札の工事(1工事)を除く

(R6.12月末時点)

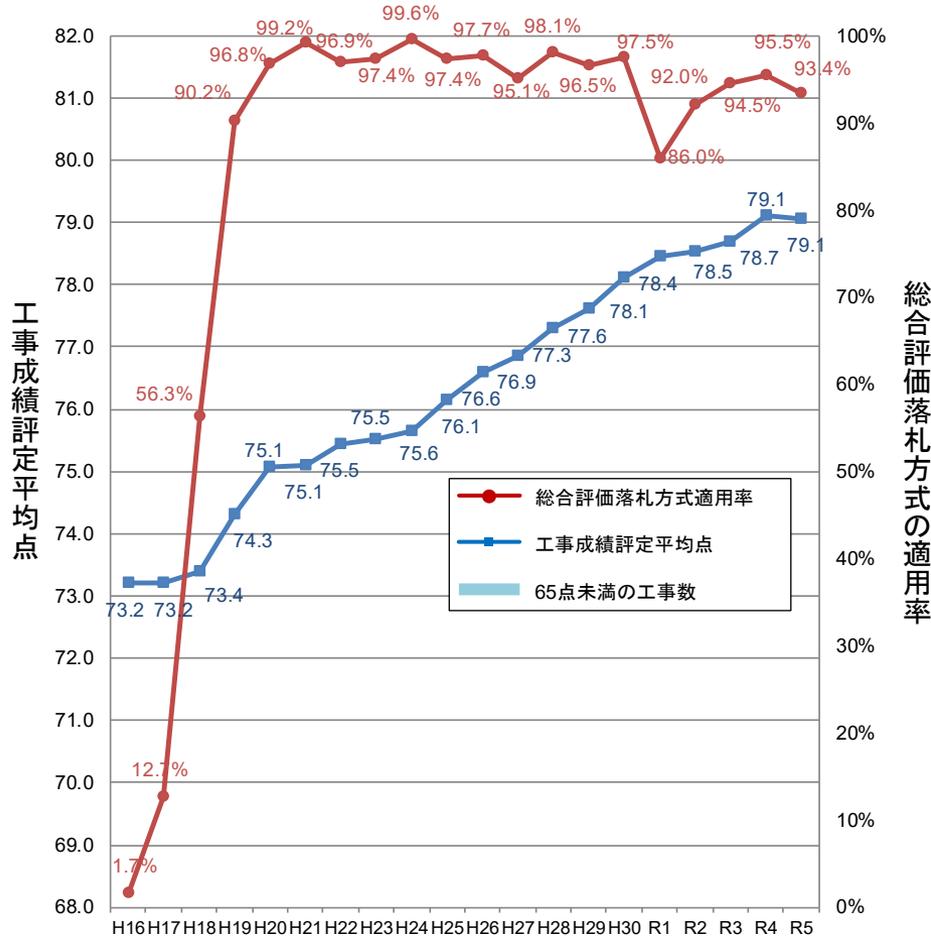
## 2. ⑨工事成績評定の推移

(R6. 12月末現在)

○ 工事成績評定の平均点は年々上昇傾向にある。また、65点未満の工事数は近年0~2件程度。

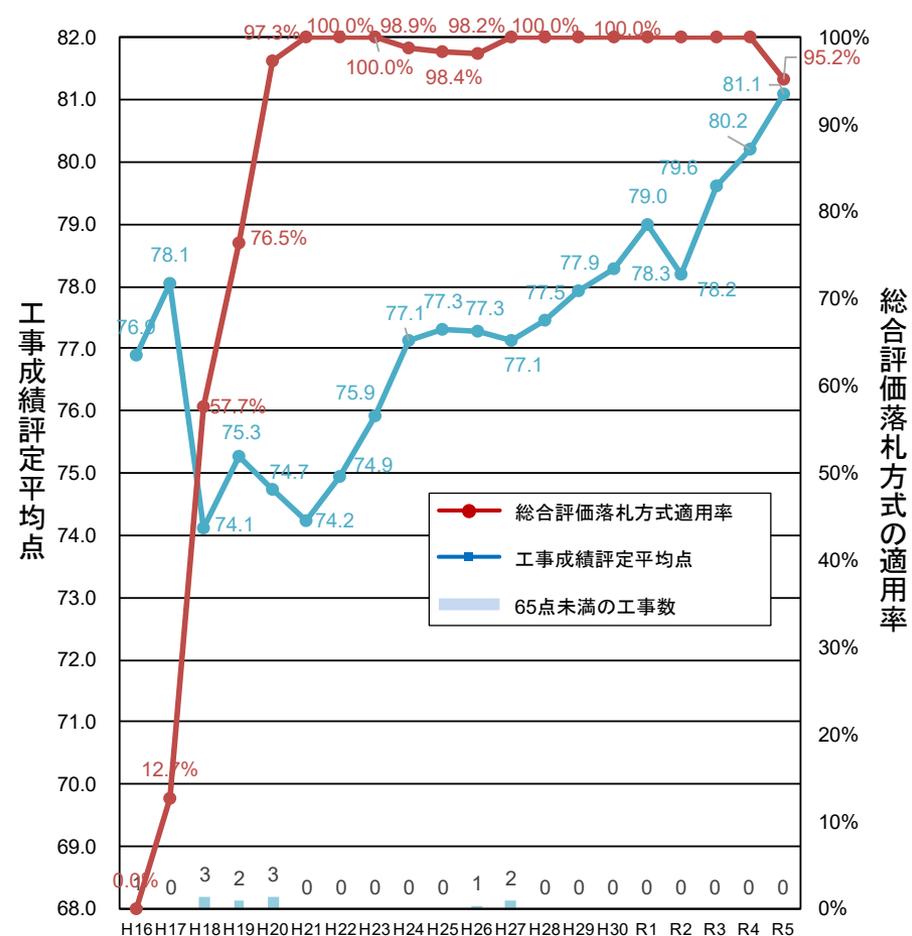
### 総合評価落札方式適用率と工事成績評定の経年変化(契約年度別集計)

#### 【河川、道路、営繕、公園関係】



※総合評価落札方式の適用率は、全工事(一般競争、指名競争、随意契約)を対象  
 ※工事成績評定の平均点は、全工事(一般競争、指名競争)を対象  
 ※250万円未満の工事を除く

#### 【港湾空港関係】



※総合評価落札方式の適用率は、全工事(一般競争、指名競争、随意契約)を対象  
 ※工事成績評定の平均点は、全工事(一般競争、指名競争)を対象  
 ※工事種別は港湾5工種を対象

### 担い手の中長期的な育成・確保の促進に係る取組の工事成績評定

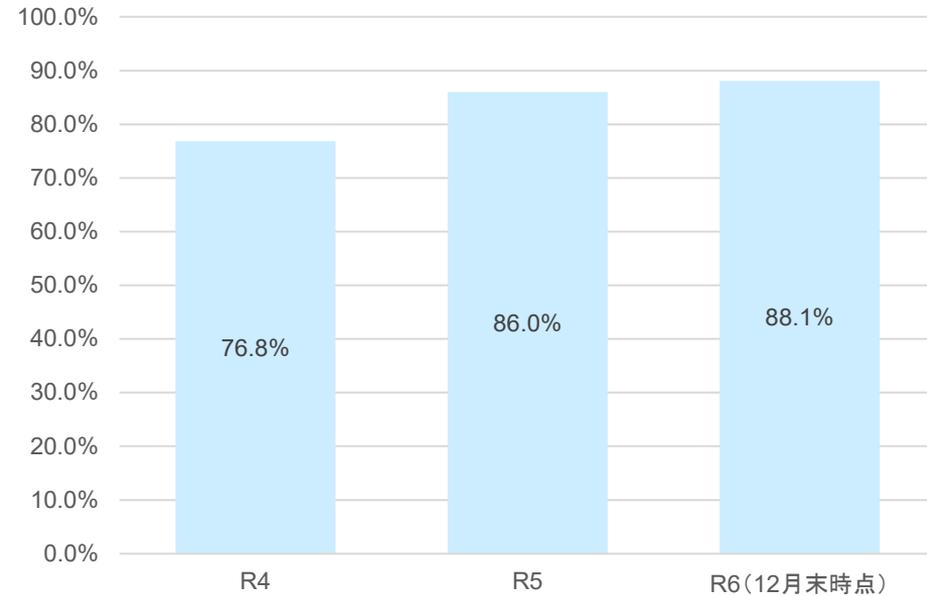
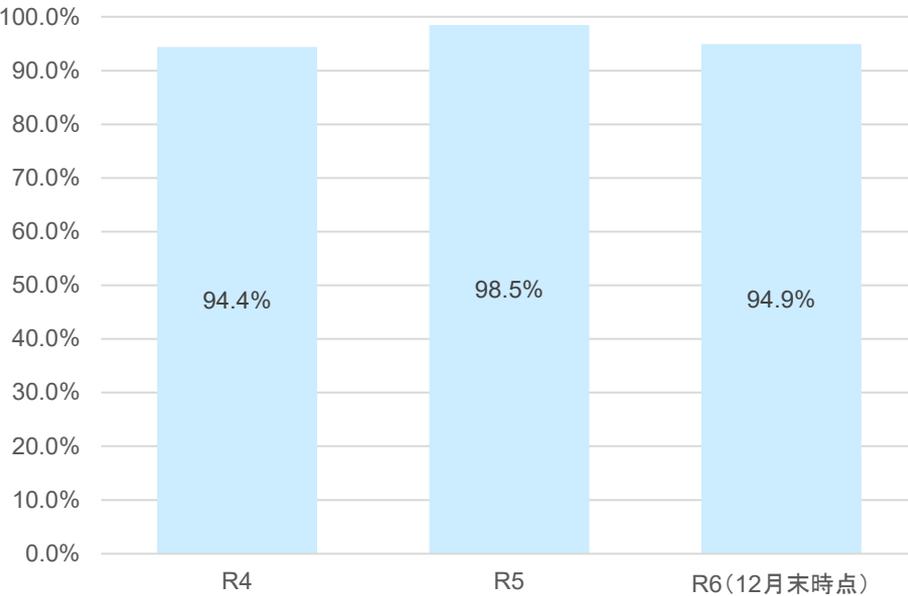
- 1) 各取組とも、施工能力評価型全体の平均点 79.3点(821件)と同程度で、完成した工事の品質は確保されている。
- 2) 今後も工事成績評定による品質確保に係る分析を継続。

取組内容	完成工事数 (R5年度)	工事成績評定の平均点 (R5年度完成工事)
若手技術者活用評価型 (平成25年度～) ※令和4年8月以降評価項目見直し	150件	79.9点
技術者育成型 (平成26年度～)	10件	80.0点
自治体実績チャレンジ型 (令和4年8月～) ※平成25年度～令和4年7月は自治体実績評価型	74件	79.7点
地域防災担い手確保型 (平成26年度～)	81件	79.8点
地域防災実績評価型 (令和2年度～)	141件	78.8点
実績評価型 (令和2年度～)	72件	76.9点

○賃金引上げの加点については令和4年度から適用を開始。  
 ○加点条件 ⇒ 大企業：対前年比（暦年もしくは企業の事業年度）で、給与等受給者一人当たりの平均受給額を3%以上増加させる旨の表明  
 中小企業：対前年比（暦年もしくは企業の事業年度）で、給与総額を1.5%以上増加させる旨の表明  
 ○加点率について、技術提案評価型は取組初期から高い加点率を維持。施工能力評価型については、徐々に加点率が上昇している。

技術提案評価型

施工能力評価型



参加表明者の加点状況

参加表明者の加点状況

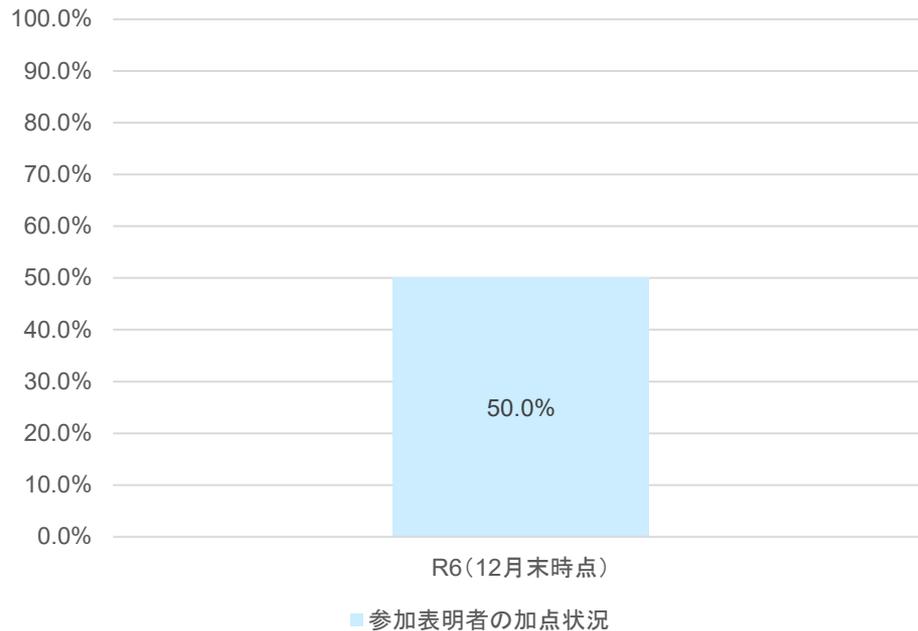
	R4	R5	R6 (12月末時点)
参加表明者の加点状況			
参加表明者母数	625	331	99
⇒うち、加点者数	590	326	94
加点率	94.4%	98.5%	94.9%

	R4	R5	R6 (12月末時点)
参加表明者の加点状況			
参加表明者母数	5330	5333	3233
⇒うち、加点者数	4096	4586	2848
加点率	76.8%	86.0%	88.1%

※随意契約を除く  
 ※港湾空港関係を除く

○ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の加点については、令和6年1月より適用を開始。  
以後、見直しを踏まえながら対象拡大予定。

一般土木B等級以上、建築B等級以上



		R6(12月末時点)
参加表明者の加点状況	参加表明者母数	44
	⇒うち、加点者数	22
	加点率	50.0%

※上記は、R6. 8. 1からの加点状況を集計したもの。

ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価の変遷

	対象工事	加点
R6. 1. 1～ 【適用開始】	一般土木B等級以上、 建築B等級以上	企業の評価、自由設定 項目で必須加点：1点
R6. 8. 1～ 【加点条件見 直し】	一般土木B等級以上、 建築B等級以上	企業の評価の枠外で必 須加点：1点
R7. 8. 1～ 【 <u>全工事（中 小企業）へ 対象拡大予 定</u> 】	一般土木B等級以上、 建築B等級以上	企業の評価の枠外で必 須加点：1点
	<u>上記以外の工種</u>	<u>企業の評価の枠外で必 須加点：0. 5点</u>